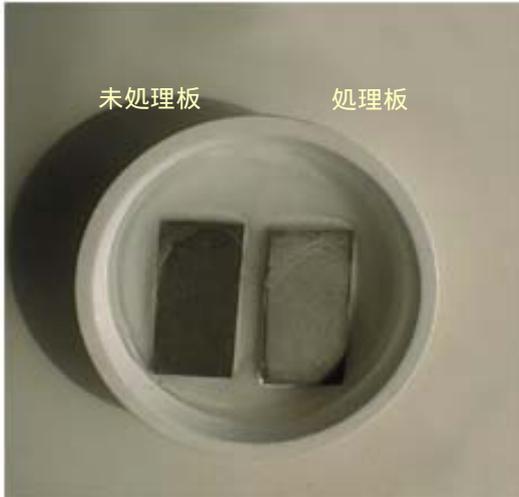


ケミックス ハイドロプルーフ

《コンクリート板の凍結融解》

初回凍結時



供試体： 100×50×10mm（材齢28日 20 水中養生）
凍結時温度： - 18 （供試体中心部）
融解時温度： + 20 （供試体中心部）
サイクル： 250サイクル（1サイクル5～6時間）

右側：ハイドロプルーフWP-GS溶液に 30分浸置きしたものを24時間養生後、未処理版と同様に水中に漬ける。
未処理コンクリート版は水に浸けると同時に濡れ色になるが、処理版には変色をきたしていない。

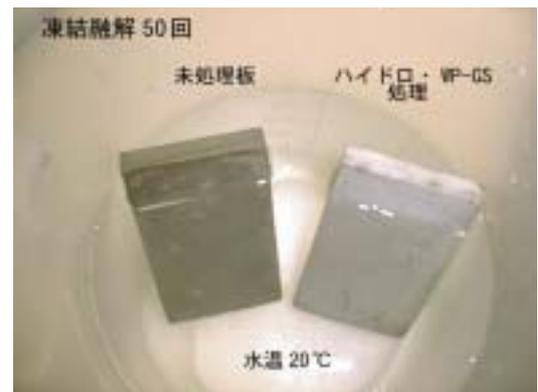
下図。凍結融解200回目及び250回目。
水中凍結状態。未処理コンクリート版は周辺がかなり削られ表面に小さな穴が確認できる。処理版は表面に傷が見られるが防水効果に変化は見られない。
凍結融解200回



凍結融解250回



凍結融解50回目水に浸けた状態。
未処理コンクリート版はわずかに縁が欠けだしてきている。処理版には変化をきたしていない。



凍結融解50回目凍結時に水滴を落とし氷結した状態。

